

私たち「虐待ゼロへ いのちにハグを。とちぎ」を応援します

藤井産業株式会社

TOYOPET
SMILE

栃木トヨペット

FUTABA フタバ食品株式会社

文星芸術大学附属高等学校

一般社団法人
栃木県トラック協会

NTT東日本 栃木支店

TOYOTA WOODYU HOME (株)ドコモCS 栃木支店

シルバーの住まいの窓のまわり
比企ノベカ 明光義塾!

栃木県生活協同組合連合会

Smile 普豊建設

for the SMILE 未来をもっと豊かに
KSK環境整備 宮崎醤油株式会社 SUPER XEBIO

医療法人くろさきこどもクリニック、学校法人木嶋学園 みゆき幼稚園、
学校法人真照寺学園 認定こども園くにや幼稚園、学校法人鹿沼幼稚園、
輪王寺附属日光幼稚園、認定こども園 西那須野幼稚園、認定こども園 黒磯幼稚園、
学校法人ペスタロッチ学院 太陽幼稚園、認定こども園 栃木幼稚園、
認定こども園 若葉幼稚園、認定こども園 愛泉幼稚園、八幡台認定こども園、
認定こども園 ふたば幼稚園、学校法人沼田学園 恵光幼稚園、
学校法人壬生学園 おもちゃのまち幼稚園、認定こども園 マロニ工幼稚園、
学校法人妙音寺学園 認定こども園 育成館幼稚園、みふみ認定こども園、
認定こども園 まこと幼稚園、うつのみやこども園 石川幼稚園、
学校法人やまとざき学園 認定こども園 金井台幼稚園、
学校法人むつみ学園 認定こども園 むつみこども園、認定こども園 アルス幼稚園、
認定こども園 たから幼稚園、学校法人いのせ学園 やしお幼稚園（順不同）

いのちにハグを。サポーター

カンガルーOYAMA 会長 大久保幸子、立正大学 教授 大竹智、
子ども虐待防止ネットワークとちぎ 代表 福田雅章、
栃木フォースティングセンター 代表理事 富山憲夫、歌う海賊団ッ!
NPO法人 レインボー 代表理事 宮田里枝

（一社）栃木県若年者支援機構 代表理事 中野謙作
とちぎ男女共同さんかくねっと 副理事長 大澤里香（順不同・敬称略）

企画監修



TOCHIGI POLICE
栃木県警察



西真岡こどもクリニック

理事長

仲島 大輔 さん

子育て世代が安心して子育てができるようになると、2011年のクリニック開業から今に至るまで開業医の枠にとらわれない連携医療を提供。共働きの家族の助けにもなるように診療時間を夜の20時まで行っている。小児医療と成人医療の情報分断にも目を向け、関連病院も開院することで、各方面との連携医療を図りながら、子どもたちへ手厚いケアを提供する。

仲島さんは2011年に風邪や喘息などを扱う一般的な小児科内科としてクリニックを開業しました。しかし、経済発達症や家庭的な問題を抱える前の子どもが、どうすれば元気になれるのか?処方箋を出すだけでは解決できない問題に直面しました。必要とあらば、その場で学校や親の職場、行政に電話をかけ、自ら足を運び、開業医の垣根を越えて奔走しました。5年前からは地元の小学校校長を退職した柳沢邦夫さんを迎えて、連携医療部を発足。学校へ通えない子どもたちが集まる「西真岡ドリーム

スクール」を運営しながら、学校、児童相談所、行政、警察などと連携する活動を行っています。各所に子どもを紹介して終わりではなく、お互に信頼関係を築き、情報共有しながら、子どもたちの成長をずっと見守っています。

フリースクールは子どもたちが安心して通える場所を作り、傷ついた心をケアしながら、求めに応じて学習支援や進路相談を行うというスタンス。教員資格を持つスタッフが対応しています。地元の校長先生から実績を認められ、スクールの出席が登校扱いになる小中学校も増えました。「10分程も集中することが難しい神経発達症の子どもにとって、1時間机の前に同じ姿勢でいるのは辛いだけです。また、家庭内でもめ事があつたら、子どもは勉強どころではありません」まずは子どもを取り巻く環境を整えることが、優先されるべきと言います。

今年8月からは子ども食堂も始めました。地元のベーカリーやJAから提供された食材をクリニツクに併設する力

フェで調理し、訪問看護や診療などで必要だと判断した家庭に毎日届けるシステムです。これまで医療相談などで子ども食堂を支え、実情に詳しい仲島さんは「食品店や飲食店での廃棄ロスをうまく循環させるシステムがあれば、もっとこども食堂が広がる」と提案します。

さらに幼稚園、小学校、中学校、高校その後と各ステージで子どもたちの情報が分断されている現状を指摘。こちらの情報を共有できたら、子どもたちに手厚いケアができる。こうした手厚い連携医療の仕組みが各地域に整うように行政に期待したい、とも。地域で協力しながら子どもを健康に育てられる場所は、誰にとっても住みやすいところになるはずとの信念で、周囲を巻き込みながら、多面的な活動を続けています。「支援の第一歩は自分にできることがあります。自分が知ることを認識して、できることは周りを巻き込む。支援活動をすることで、何か迷いや悩みがあれば、ドリームスクールに足を運んでみてください」

「児童虐待かも…」と思ったら、すぐにお電話ください

児童相談所
虐待対応
ダイヤル

1 8 9

1 8 9

子どもへの虐待のない社会を目指して

下野新聞

子ども虐待防止啓発キャンペーン

虐待ゼロへ
いのちに
ハグ"を。
とちぎ

section 16

企画・制作 下野新聞社営業局
企画監修 栃木県
栃木県警察本部

子どもたちの困りごとにとことん向き合い、ツイッターで日々の活動を発信する、西真岡こどもクリニックの仲島大輔理事長の元には「私も何かお手伝いできないか?」と、さまざまな問い合わせがきます。さらに仲島さんに触発されてつながった全国の医師が情報交換する、オンラインカンファレンスも毎月開かれ、子どもファーストの輪が広がっています。